

InternetWeek2015 ネットワーク構築サポート 体験レポート

勉強したネットワークの知識を活かしてみたいと思ったのが、私のInternetWeekのネットワーク構築サポーターに応募した理由です。

福岡から東京という遠方からの参加、それも7日間に及ぶ作業という事で様々な不安を胸に活動場所に向かったのですが他のスタッフの方々がとても明るくフレンドリーに接して下さって不安はすぐに無くなりました。

実際に機器の構築作業をした中では、自分が設定した機器を使用し実際に運用されるネットワークを構築する事の責任感とこの場で初めて体験する事が多く経験不足を実感しました。学校での実習では問題が起こってもすぐネットワークを止めて直してからまた動かすといった事が多くネットワークが止まるという事を軽く考えていたのですが、実際に運用されるネットワークでは止まらないという事が大前提なので一度動かすと修正ができないという事を再認識しながら設定を行いました。また使った事が無い機器の設定をする事もあり、調べながら設定を行っている時には自分の経験不足を痛感しました。

InternetWeekが開催してからは、会場ネットワークの監視を行いながら空いた時間に何度かセミナーにも参加させていただきました。セミナーでは現役のエンジニアの方々が最新のインターネット技術の動向など様々な事を話されていて、貴重なお話を数多く聞く事ができました。

今回のスタッフとしての活動を通して、今の自分に足りないものやこれからの目標など色々なものを見つけることができました。そして何より将来働きたいと考えている業界で今働いている方々と同じような立場と一緒に作業をさせてもらえるという貴重な体験をさせていただいたので、これを無駄にしないようにも勉強を続けていつかは自分も同じ業界で働こうと思いました。これからも自分の知識を活かせるような場があれば、今回の経験を活かせるよう積極的に参加しようと考えています。

(麻生情報ビジネス専門学校 小野晃瑠)

私がInternetWeek2015に参加したきっかけは先生からの紹介でした。紹介を頂いた際、自分の実力に自信が無く、本当に最後までやり遂げることが出来るのか不安でした。しかし、それ以上に普段学校で学んでいる知識や、8月に開催されたICTトラブルシューティングコンテストで身につけた技術が、どこまで現場で通用するのかチャレンジしてみたくなり参加を決めました。

今回私は、会場内ネットワークで使われる機器のコンフィグを打たせてもらいました。スイッチの設定は何度か行ったことはありましたが、実際の現場で構成される機器を目の当たりにするのは初めてで、多くの新しい発見に出会うことが出来ました。現場の雰囲気も非常に明るく、他のスタッフと話し合いながら終始楽しく作業を行うことができました。また、過去に一度も触れたことが無かった無線 AP の設定にもチャレンジし、普段はなかなかできない体験をすることができました。

イベント開催中はネットワークスタッフの一員として、社会人スタッフの方々と一緒にネットワーク監視業務を行いました。現場で実際に動いているシステムを監視する、普段の学生生活ではできない貴重な体験でした。監視業務の経験は一度もありませんでしたが、社会人スタッフや他の学生メンバーの様子を見ながら、見よう見まねで行いました。また、現場で覚えたことや知っている知識は、スタッフ間で共有し合い効率的に作業を進めるなど、チームにも貢献できました。

問題もありました。無線 AP など初めて見る機器の設定の仕方に戸惑うなどの個人的な問題や些細な確認ミスなど、実際の作業の中では様々な失敗がありました。しかし、問題が発生した際にスタッフ同士が協力し合い、問題を切り分け原因と対策を究明し対応することで迅速に問題を解決することができました。特に社会人スタッフの方々の問題の切り分け方やチームワークには何度も圧倒されました。誰かが役割分担したわけでもなく、それぞれが周りを見てコミュニケーションを図りながら、自分の役割を持って素早く問題に取り組む姿には憧れのようなものも感じました。

今回の体験を通じて特に感じたことは、コミュニケーションの大切さです。構築作業は個人での作業が多い仕事だと考えていましたが、実際はその逆でした。構築にしても、トラブルシューティングにしても、チームで作業する場面が多く、コミュニケーション能力の大切さを身をもって体感することができました。また、学校の授業では感じることもできない現場の緊張感、臨場感、苦労、そして楽しさを直接肌で感じることができ、とても貴重な経験をすることが出来ました。また、今回の活動を通して関わった全ての方々に心から感謝したいと思います。

今後は、今回学んだことを活かし将来の目標に向かってチャレンジし続けたいです。

(情報科学専門学校岩崎学園 情報セキュリティ学科 山崎輝人)

私は今回、実際にお客様にて提供されているネットワークに触れてみたいと思ったことと、また、普段勉強していることがどれくらい役に立つのか確かめたいという二つの理由から Internetweek のボランティアに参加することを決めました。

私は今回の Internetweek のボランティアを通して、安定したサービスを提供することの大変さと重要性を学びました一度構築したネットワークがつながりにくくなったり、後になって通信ができない箇所が浮かび上がってきたりと、初めて遭遇するトラブルばかりでした。私はどこに問題があるのか、どう対処したらいいのか全く分からず悔しい思いもしましたが、もっと勉強してどんなトラブルにもすぐに対処できるようになるとういう励みになりました。

それ以外の時間ではほかの学校の方と交流を深めることができました。自分とは違ったことを勉強している人と交流することで、自分に足りない部分などを知ることができました。また、私が今まであまり取り組んでこなかったサーバーなどの分野に積極的に組んでいる方もいて、興味を持つきっかけを得ることができました。

運営スタッフの方々や、一緒に活動したボランティアの方々のおかげでとても有意義な時間を過ごすことができました。

自分はこのイベントに対してなにか貢献できているのかと不安になる事もありましたが、最後にスタッフの方々から「ありがとう」と声をかけていただいて、参加して良かったと思うことができました。今後も今回の経験を励みによりいっそう努力していきたいです。

(麻生情報ビジネス専門学校 コンタネットワーク科 甲斐昂輝)

今までの経験として、ネットワークというものは既にあるものであり、また一度構築すると機材の置き換えやメンテナンスは行うものの、構成を変更したり構築し直す事はほぼありませんでした。そのため、今回ネットワークを構築する体験が出来るという話を聞き、それは面白そうだと思い応募・参加しました。

実際に行った作業としては、事前に使用するスイッチや無線 AP の設定などの作業を行い、当日にそれを設置・接続してあとはトラブルが起きた際に随時対応するという感じでした。スイッチの設定はあまりしたことがなかったのですが、他のスタッフや学生メンバーに教えてもらいながら行うことで問題無く作業を行うことが出来ました。設定後のスイッチの動作確認時や当日の運用時にはやはり幾つかトラブルが起きたのですが、その殆どが物理層に原因があるも

のが多く、今後の教訓として「まずは物理層を疑え」という事を学びました。当日の運用も、初日の方は多少トラブルが起きたものの、3日目以降はトラブルも起きず、心置きなくセッションに参加する事もでき、とても充実した期間を過ごすことが出来ました。

ネットワーク構築という体験だけでなく、様々なセッションを受講することで新しい知識や知見を得ると共に、他のスタッフや学生の方との交流も出来、とても良い経験が出来たと思っております。

(九州工業大学 情報工学府 学際情報工学専攻 吉浜丈広)

トラブルも発生しましたが、実習などでは起きないトラブルだったので勉強になりました。

また、実際に稼働している AP を管理するツールなどを操作することができたのは実習などではできないので良い体験になったと思います。

初めて Internet Week の参加でしたが、来年も参加したいと思います。

ありがとうございました。

(日本工学院八王子専門学校 青山尚暉)

2回目の参加ということで去年の自分との比較ができるいい機会だと思い参加しました。今回は、参加できる日が少なく機器の設定には、参加できなかったのですが、資料を見て何となくネットワークがどうなっているか理解することができました。

去年の私は資料を見せてもらっても何も分からず言われたことを意味も分からずやっていたのですが、今回はこの機器はどういう意味を持っているのか理解しながら作業することができ、自分の成長を感じることができました。

さらに自分に足りないものも見つけられました。

今回トラブルが起きた時何が原因でどう対処すればいいのか全くわかりませんでした。このことで自分にはトラブルシュートの能力が足りていないと思いました。自分の成長と未熟な部分を発見でき、ネットワークの構築に携われたことはとても勉強になりましたし、現役で働いている方々とも色々な話が出来てとても良い体験ができました。できればまた来年も参加したいと思いました。

(情報科学専門学校 情報セキュリティ学科 渡部昂平)